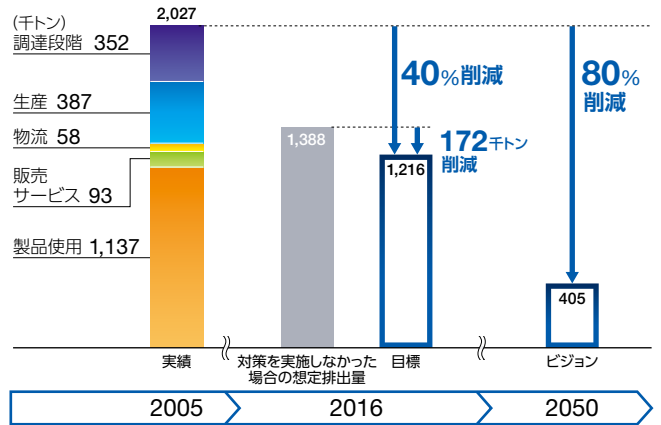


中期環境計画の進捗報告

# ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を着実に削減していきます。

グローバル企業としてさらなる成長を遂げるためには、中期経営計画のもとで業容転換を進めると同時に、社会に対する責任を果たす「CSR経営」を推進し、国際社会から信頼される存在となることが不可欠と考えています。「社会課題の解決を企業の競争力向上や利益と両立させ、社会と企業の両方に価値を生み出す企業」が、21世紀の社会の要請に応える“Sustainable(持続可能)な企業”であるとの考えに基づき、中期経営計画とともに、中期環境計画を策定しています。この中期環境計画では、環境負荷低減と企業の成長の両面で目標を設定しています。

ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の削減目標

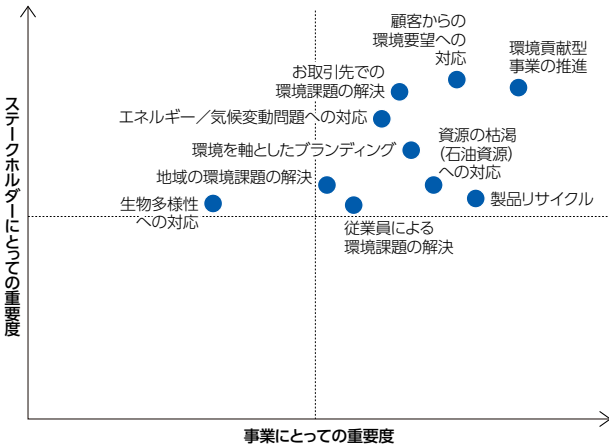


中期環境計画2016と2014年度実績

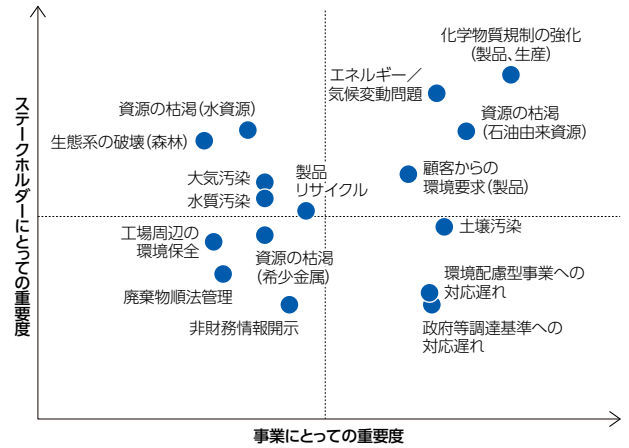
重要テーマ	重要課題	中期環境計画2016	
		事業価値	環境価値
重要テーマ 1 グリーンプロダクツ (企画・開発)	(1) お客様・社会が求めるグリーンプロダクツの創出と訴求	<b>【売上高】</b> ● グリーンプロダクツ 売上高: 6,400億円(売上比率: 58%) <b>【コストダウン】</b> ● 製品の材料コストダウン	<b>【地球温暖化防止】</b> ● 製品使用時のCO <sub>2</sub> 削減効果: 59千トン ● 調達段階でのCO <sub>2</sub> 削減効果: 105千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ● 資源有効利用量: 33千トン <b>【化学物質リスク低減】</b> ● エミッションへの確実な対応
	(2) 政府調達基準・環境ラベルへの対応	<b>【売上高】</b> ● 販売機会損失ゼロ	<b>【環境全般】</b> ● 基準・ラベル適合による環境負荷低減
	(3) 製品関連法規制への確実な対応	<b>【リスク回避】</b> ● 販売影響ゼロ	<b>【化学物質リスク低減】</b> ● 法規制適合による有害化学物質リスク低減
重要テーマ 2 グリーンファクトリー (調達・生産)	(1) コスト競争力につながるグリーンファクトリー活動	<b>【コストダウン】</b> ● エネルギー、材料コストダウン(ロス削減)	<b>【地球温暖化防止】</b> ● 生産活動のCO <sub>2</sub> 削減効果: 9.2千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ● 資源有効利用量: 0.4千トン <b>【生物多様性への対応】</b> ● 水資源の持続可能な活用
	(2) 地域環境課題を解決するアップグレードリサイクル	<b>【コストダウン】</b> ● 材料コストダウン	<b>【地球温暖化防止】</b> ● 調達段階でのCO <sub>2</sub> 削減効果: (2015.1Qに目標設定) <b>【循環型社会への対応】</b> ● 資源有効利用量: (2015.1Qに目標設定)
	(3) コスト競争力につながるサプライヤーとの協働	<b>【コストダウン】</b> ● エネルギー、材料コストダウン(ロス削減)	<b>【地球温暖化防止】</b> ● 調達先でのCO <sub>2</sub> 削減 *対象サプライヤーごとに合意して設定 <b>【循環型社会への対応】</b> ● 資源有効利用 *対象サプライヤーごとに合意して設定
	(4) 生産関連法規制への確実な対応	<b>【リスク回避】</b> ● 生産影響ゼロ	<b>【環境全般】</b> ● 法規制適合による環境負荷低減
重要テーマ 3 グリーンマーケティング (物流・販売・サービス・回収リサイクル)	(1) お客様の環境課題の解決	<b>【売上高】</b> ● 販売機会の獲得	<b>【環境全般】</b> ● お客様での環境負荷低減
	(2) サプライチェーン最適化と連動した環境活動	<b>【コストダウン】</b> ● 物流、包装コストダウン	<b>【地球温暖化防止】</b> ● 物流時のCO <sub>2</sub> 削減効果: (2015.2Qに目標設定) <b>【循環型社会への対応】</b> ● 資源有効利用量: (2015.2Qに目標設定)
	(3) 製品の3R活動	<b>【リスク回避】</b> ● 3R活動の強化	<b>【循環型社会への対応】</b> ● 製品3Rによる資源の有効利用

※ 2016年度目標は、必達目標であるライフサイクルCO<sub>2</sub> 40%削減の見通しから、一部変更しています。 ※ マテリアリティ分析結果に基づき、重要課題の一部を表現変更し、課題を追加しています。

マテリアリティ分析(機会)



マテリアリティ分析(リスク)



2014年度実績

事業価値		環境価値	
<b>【売上高】</b> ●グリーンプロダクツ売上高：5,471億円(売上比率：54%) <b>【コストダウン】</b> ●製品の材料コストダウン	○	<b>【地球温暖化防止】</b> ●製品使用時のCO <sub>2</sub> 削減効果：43千トン ●調達段階でのCO <sub>2</sub> 削減効果：76千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ●資源有効利用量：24千トン <b>【化学物質リスク低減】</b> ●エミッションへの確実な対応	△
<b>【売上高】</b> ●販売機会損失ゼロ	○	<b>【環境全般】</b> ●基準・ラベル適合による環境負荷低減	○
<b>【リスク回避】</b> ●販売影響ゼロ	○	<b>【化学物質リスク低減】</b> ●法規制適合による有害化学物質リスク低減	○
<b>【コストダウン】</b> ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減)	○	<b>【地球温暖化防止】</b> ●生産活動のCO <sub>2</sub> 削減効果：1.9千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ●資源有効利用量：0.23千トン <b>【生物多様性への対応】</b> ●水資源の持続可能な活用	○
(2015年度からの新規重要課題)			
<b>【コストダウン】</b> ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減)	○	<b>【地球温暖化防止】</b> ●調達先でのCO <sub>2</sub> 削減効果：1千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ●資源有効利用量：0.3千トン	○
<b>【リスク回避】</b> ●生産影響ゼロ	○	<b>【環境全般】</b> ●法規制適合による環境負荷低減	○
<b>【売上高】</b> ●販売機会の獲得	○	<b>【環境全般】</b> ●お客様での環境負荷低減	○
<b>【コストダウン】</b> ●物流、包装コストダウン	△	<b>【地球温暖化防止】</b> ●物流時のCO <sub>2</sub> 削減効果：0.7千トン <b>【循環型社会への対応】</b> ●資源有効利用量：0.25千トン	△
<b>【リスク回避】</b> ●3R活動の強化	○	<b>【循環型社会への対応】</b> ●製品3Rによる資源の有効利用	○